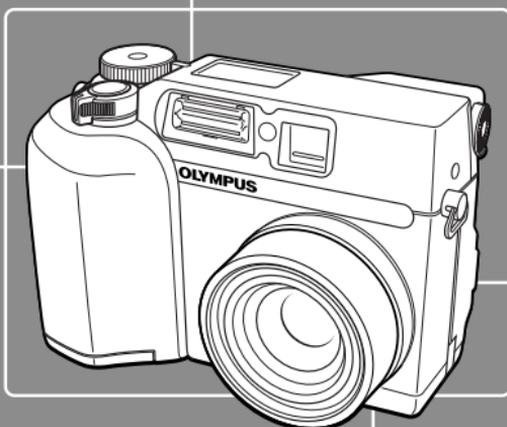


OLYMPUS®

CAMEDIA
デジタルカメラ **C-3100ZOOM**



取扱説明書

-
- ご使用前にこの説明書をお読みください。
 - 大切なもの（海外旅行など）をお撮りになる前には、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能することをお確かめください。
-

はじめに

このたびはオリンパス デジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、オリンパス指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。

本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

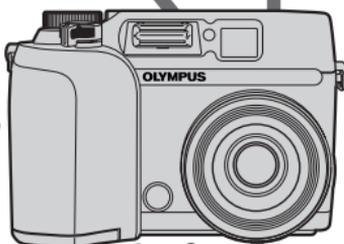
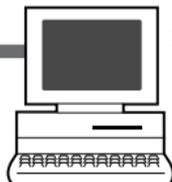
カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

このカメラでできること

撮影した画像はスマートメディア（カード）に記録されます



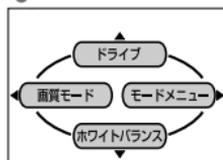
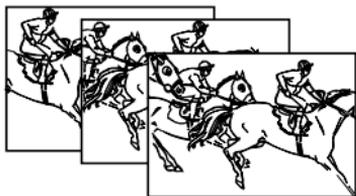
撮影した画像をコンピュータに転送



充実した露出モード

S-Prg：シーンプログラム
P：プログラムオート
A：絞り優先
S：シャッタースピード優先
M：マニュアルモード
M^o：マイモード

連続写真が撮れます



かんたんメニュー操作
使いやすく機能の役割ごとに分かれたメニュー

AEL /



カメラのボタンに使用頻度の高いメニュー項目を登録することができます



ムービー（動画）も撮影します
静止画だけでなく、ムービー映像を記録することができます。

目次

安全にお使いいただくために	10
各部の名前	16
カメラ	16
ファインダ表示	18
コントロールパネル表示	19
液晶モニタ表示～撮影情報	21
液晶モニタ表示～再生情報	24
静止画再生情報	24
ムービー（動画）再生情報	25
本書の見方	26

1 準備 29

ストラップを取り付ける	30
電池を入れる	31
電池残量の目安	32
カードについて	34
カードを入れる／取り出す	35
電源を入れる／切る	36
カードチェック	37
日時の設定	38
視度調節～ファインダを見やすくする	41
カメラの構え方	41

2 使い方早わかりガイド 43

静止画を撮る 	44
ムービーを撮る 	45
静止画を見る～簡単再生 	47
ムービーを見る～簡単再生 	48
画像を消去する 	49

3 メニューのしくみ

51

メニューについて	52
メニュー操作の流れ	52
トップメニュー	53
モードメニュー	54
タブについて	55
機能を選択・設定・保存する	56
メニュー機能の設定例	57
モードメニュー機能一覧（撮影）	58
モードメニュー機能一覧（再生）	62
ショートカットメニュー	63
モードダイヤル位置によるショートカットメニュー	64
メニュー機能の初期設定一覧	65

4 撮影の基本

69

撮影モードの設定～モードダイヤル	70
シーンモードの選択～シーンプログラム撮影	72
絞り値の設定～絞り優先撮影	73
シャッター速度の設定～シャッター優先撮影	74
お好みの撮影モードに設定～マイ・（イメージ）・モード撮影	74
絞り値とシャッター速度の設定～マニュアル撮影	75
シャッターボタンの使い方	76
ピント	77
オートフォーカス	77
ピントの合いにくいもの～オートフォーカスの苦手な被写体	77
フォーカスロック	
～中央以外の被写体にピントを合わせる	78
AF方式～ピント合わせの範囲を変える	79
フルタイムAF	
～スポーツ撮影時などの動きの速い被写体にピントを合わせる	80
マニュアルフォーカス～ピントを自分で合わせる	82

目次

静止画を撮る	84
ファインダを使って静止画を撮る	84
液晶モニタを使って静止画を撮る	86
ムービー（動画）を撮る	89
ズーム～望遠や広角撮影をする	91
デジタルズーム	91
フラッシュ撮影	93
オート発光	93
赤目軽減発光	93
強制発光	93
発光禁止	94
スローシンクロ	94
スローシンクロを設定する	96
フラッシュを使う	97
フラッシュ補正	100

5

撮影の応用

103

連写機能	104
連写・AF連写をする	104
オートブラケット撮影	
～1コマごとに露出を自動的に変えて連写する	105
測光モード～被写体の明るさを測る	108
AEロック～露出を固定する	110
マクロ撮影～近くのを撮る	113
ファンクション撮影～モノクロやセピア色などで撮る	115
パノラマ撮影	117

6 画像・画質・露出の調整 119

画質モード	120
画質モードを選択する	120
ISO感度	124
露出補正	126
ホワイトバランス	128
オートホワイトバランス	128
プリセットホワイトバランス	128
ワンタッチホワイトバランス	128
WB補正	131
シャープネス	132
コントラスト	133
ノイズリダクション	134

7 再生 135

静止画の再生	136
1コマ再生	136
簡単再生	136
自動再生	137
ムービー再生	138
情報表示	140
クローズアップ再生	141
インデックス再生	142
インデックス表示	143
回転再生	144
プロテクト機能	146

目次

画像の消去	147
1コマ消去	147
全コマ消去	148
カードのフォーマット	149

8 カメラの便利機能 151

カスタムボタン設定	152
カスタムボタンに機能を登録する	153
カスタムボタンを使う	153
ショートカット設定	155
ショートカットメニューを登録する	156
ショートカットメニューを使う	157
セルフタイマー撮影	158
設定クリア	159
ビープ音	160
レックビュー	160
マイモード設定	161
ファイル名メモリー	164
m/ft設定	166

9 プリント設定 167

プリント方法	168
DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ	169
全コマ予約～カードの中の全画像をプリント予約する	170
1コマ予約～選択した画像のみをプリント予約する	171
トリミング設定	173
プリント予約を解除する	176

10	画像をパソコンに読み込む	177
	カメラとパソコンをケーブルで接続する	178
	お使いのパソコンのシステムを確認する	179
	接続の手順	181
	画像ファイルをパソコンに読み込む（ダウンロード）	183
	USBケーブルの取り外し手順	187
	カードから直接画像を読み込む	190
11	別売品を使う	191
	ACアダプタ	192
12	その他	193
	修理に出す前にお確かめください	194
	カメラのお手入れと保管	200
	使用後のカメラの取り扱い	200
	カメラのお手入れ	200
	エラーコード表示一覧	201
	アフターサービス	203
	仕様	204
	用語解説	206
	索引	209
	お問い合わせ窓口	212

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この「安全にお使いいただくために」の内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意



警告

- ☞ 可燃性ガス、爆発性ガス等がある場所では使用しない。
可燃性ガスおよび爆発性ガス等が、大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- ☞ フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で使用しない。
フラッシュを人の目の前（特に乳幼児）に向けて、至近距離で発光しないでください。目に近づけて撮影すると、視力障害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。

- ☞ 幼児、子供の手の届く場所に置かない。**
幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生のおそれがあります。
- 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
 - 電池や小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部でけがをする。
- ☞ カメラで日光や強い光を見ない。**
日光および強い光に向けて、本製品を使用しないでください。視力障害をきたすおそれがあります。
- ☞ 通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない。**
充電中の充電器や電池は温度が高くなります。また、別売のACアダプタをご使用時も長時間お使いになっていると、本体の温度が高くなります。長時間、皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
- ☞ ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で使ったり、保管しない。**
このような場所でカメラを使ったり保管しないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- ☞ フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。**
フラッシュの発光部分を、手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
- ☞ 分解や改造をしない。**
本製品の分解、改造はしないでください。感電やけがをする原因となります。
- ☞ 内部に水や異物を入れない。**
万一、水に落としたり、内部に水が入ったりしたときは、火災や感電の原因になりますので、すぐにスイッチを切り電池を抜き、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。



注意

- ☞ 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常が生じたときは使用をやめる。**
異臭、異常音、もしくは煙が出たりするなどの異常が生じた場合は、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店または当社サービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。(電池を取り出す際は、素手で電池を触らないでください。また、可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。)
- ☞ 濡れた手で操作しない。**
濡れた手で操作しないでください。感電の危険があります。またACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対にしないでください。



注意

- ☞ **持ち運びのときは、ストラップが引っかからないよう注意する。**
カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
- ☞ **温度の高い所へ放置しない。**
異常に温度が高くなるところに置かないでください。部品が劣化したり、火災の原因となります。
- ☞ **専用のACアダプタ以外は使用しない。**
カメラで指定されている専用ACアダプタ（EIAJ規格・極性統一型プラグ付）以外は、絶対に使わないでください。カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。また別売のACアダプタは日本国内用です。海外ではご使用になれません。専用以外のACアダプタの使用により生じた傷害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ☞ **電源コードを傷つけない。**
ACアダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
以下の場合にはただちに使用を中止し、販売店または当社サービスステーションに御相談ください。
 - ACアダプタやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合。
 - ACアダプタのコードに傷、断線、またはプラグに接触不良があった場合。

使用条件についてのご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。本製品を使用中または保管する場合、以下のような場所に長時間放置すると動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所
 - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。CCDの褪色・焼きつきを起こすことがあります。
- 長期間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- 三脚に取り付ける際、カメラを回さないでください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守り下さい。

危険

- 充電式電池は、専用のオリンパス製電池と充電器をご使用ください。電池は指定の充電器以外で充電しないでください。ご使用になる際は、電池、充電器等の説明書をよく読んで、正しくお使いください。
- 火中への投下や、加熱をしないでください。
- +を金属等で接続したり、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 強い日なた、炎天下の車内やストーブの前面など、高温の場所で使用・放置しないでください。
- 直接ハンダ付けしたり、変形や改造・分解をしないでください。端子部安全弁の破壊や、アルカリ液の飛散が生じ危険です。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み等に、直接接続しないでください。
- 電池の液が目に入った場合は、失明の原因になります。こすらずに、すぐ水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池を誤って飲まないよう、乳幼児の手の届かぬ場所で保管及び使用してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

警告

- 電池を水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。
- 以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。
 - このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
 - 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
 - 充電できないアルカリ電池やリチウム電池、CR-V3（リチウム電池パック）を充電しないでください。
 - +を逆にして装着・使用しないでください。また、機器にうまく入らない場合は無理に接続しないでください。
 - 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れがある電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
 - 市販されている電池の中にも、外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてが剥がれている電池があります。このような電池も絶対にご使用にならないでください。

●このような形状の電池はご使用になれません



- ニッケル水素電池の充電が、所定充電時間を越えても完了しない場合は、充電を中止してください。
- 液漏れや、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。火災や感電の原因となります。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因になります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしないでください。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。



注意

- 電池の＋極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- オリンパス製ニッケル水素電池はオリンパスデジタルカメラ「CAMEDIA キャメディア」専用です。他の機器に使用しないでください。
- 充電式電池をお買い上げ後初めてご使用になる場合、また長時間使用しなかった場合は、必ず充電してください。
- 充電式電池は必ず使用する電池を同時に（機種により4本または2本）充電してご使用ください。
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さないでください。やけどの原因となります。
- アルカリ電池は電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により内部抵抗・容量に差があるため、ニッケル水素電池やCR-V3などに比べて寿命が極端に短い場合があります。また、低温時は使えません。
- マンガン電池は使用できません。電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱等により本体に損害をもたらすおそれがあります。
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。

● ニッケル水素電池ご使用推奨温度範囲

放電（機器使用時）：0～40℃

充電：0～40℃

保存：-20～30℃

上記温度範囲外での使用は性能・寿命の低下の原因となります。保管の際はカメラから電池を取り出してください。

- 長時間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておいてください。電池の液漏れ・発熱により、火災やけがの原因となることがあります。
- 撮影条件、使用環境及び電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- ニッカド電池などの充電式電池を含め、電池を捨てる際は、地域の規定に従って処分してください。
- 長期間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。

液晶モニタとバックライトについて

本製品は背面の表示には、液晶モニタを使用しています。
これらは液晶モニタに関するご注意です。

- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりする恐れがあります。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見える事がありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めの時、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。
- 一般に低温になるにしたがってバックライトは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したバックライトは、常温に戻ると回復します。
- 液晶モニタに使用されている液晶画面のバックライトおよびコントロールパネルには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらつき始めたら、当社サービスステーションにお問い合わせください。（保証期間外の修理は有料となります。）
- 本製品の液晶画面は、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶画面の構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。

カメラ

各部の名称

ズームレバー(T/W) (P. 91)
インデックス再生/拡大再生レバー
( / Q) (P. 141、142)

シャッターボタン
(P. 76)

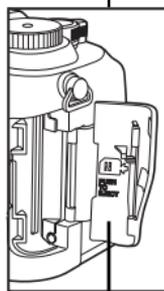
コントロールパネル
(P. 19、20)

セルフタイマーランプ
(P. 158)

フラッシュ
(P. 97)

ストラップ取
り付け部
(P. 30)

レンズ



カードカバー
(P. 35)

視度調節ダイヤル (P. 41)

DC入力端子 (P. 192)

コネクタカバー (P. 181)

USB端子 (P. 181)

マクロ/スポットボタン (📍/📍) (P. 108、113)

プリント予約ボタン (🖨) (P. 170)

消去ボタン (🗑) (P. 147)

フラッシュモードボタン (🔋) (P. 97)

ファインダ (P. 18)

十字ボタン (△▽◀▶)

モードダイヤル
(S-Prg · A/S/M/📶
· P · OFF · ▶)
(P. 36、70、71、
74、136)

液晶モニタ
(P. 21~25)

OK/メニューボタン
(P. 52)

マニュアルフォーカスボタン
(📷) (P. 82)

AELロックボタン (AEL) (P. 110)

カスタムボタン (🔧) (P. 152)

プロテクトボタン (🔒) (P. 146)

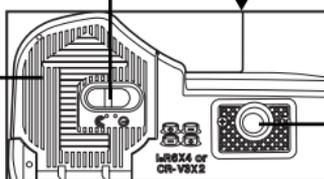
液晶モニタボタン (📺) (P. 86)

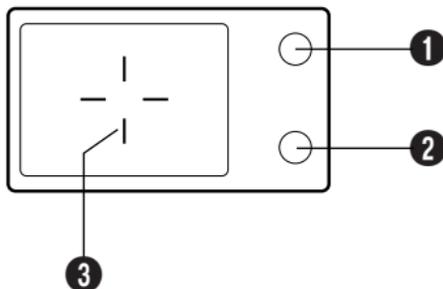
カードアクセスランプ
(P. 76)

電池カバーロック
(P. 31、32)

電池カバー
(P. 31)

三脚穴 (P. 158)





① オレンジランプ(P. 84、97)

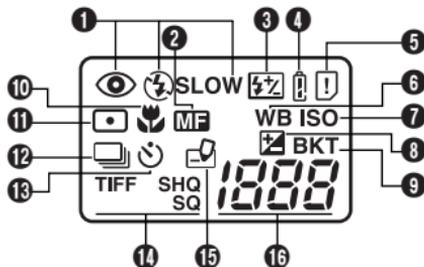
- シャッターボタンを半押ししたときにこのランプが点灯すると、フラッシュが発光します。
- ムービー撮影中は点灯します。
- フラッシュが発光禁止モードで、被写体が暗く、シャッター速度が遅くなり、手振れのおそれがあるときにこのランプは点滅します。
- フラッシュを発光禁止から他のモードに変えたとき、またはフラッシュ撮影のあとにこのランプが点滅すると、フラッシュは充電中です。点滅が終わるのを待ってから、シャッターボタンを押してください。

② 緑ランプ(P. 77、84)

- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと点灯します。合わないとき点滅します。
- 撮影後の画像処理中やカード残量がなくなったときなど、次の撮影ができないときに点滅します。
- カードチェックの際、カードに異常があると点滅します。

③ AFターゲットマーク(P. 77、84)

- このマークを被写体に合わせます。



1 フラッシュモード(P. 93~95)

- ⚡ (フラッシュモード) ボタンを押してフラッシュモードを選択すると、表示されます。

表示なし：オート発光 👁️：赤目軽減発光 ⚡：強制発光

⚡ SLOW：スローシンクロ ⚡🚫：発光禁止

2 マニュアルフォーカス(P. 82、83)

- マニュアルフォーカス機能を使って、ピントを固定しているときに表示されます。

3 フラッシュ補正(P. 100)

- メニューでフラッシュの発光量を補正すると表示されます。

4 電池残量(P. 32)

- 電池残量が少なくなると、次のように表示が変化します。



- 使用する電池の種類によって、残量表示のタイミングが変わりますので、ご注意ください。

5 カード警告(P. 37、201、202)

- 電源が入ったとき、カメラが自動的にカードをチェックし、カードに問題があるときに表示されます。

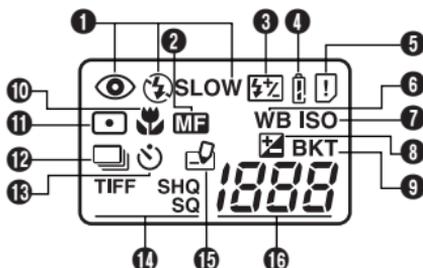
6 ホワイトバランス(P. 128)

- ホワイトバランスがオート以外のモードに設定されると表示されます。

7 ISO(P. 124)

- ISOがオート以外のモードに設定されると表示されます。

コントロールパネル表示 (つづき)

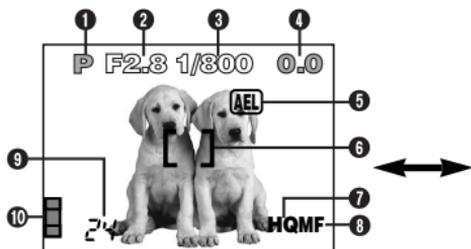


- ⑧ 露出補正(P. 126)
 - 露出が0以外に設定されると表示されます。
- ⑨ オートブラケット撮影(P. 105)
 - ドライブモードがオートブラケットに設定されると表示されます。
- ⑩ マクロモード(P. 113)
 - マクロモードが設定されると表示されます。
- ⑪ スポット測光モード(P. 108)
 - スポット測光モードが設定されると表示されます。
- ⑫ 連写(P. 104)
 - ドライブモードが連写またはAF連写に設定されると表示されます。
- ⑬ セルフタイマーモード(P. 158)
 - セルフタイマー撮影が設定されると表示されます。
- ⑭ 画質(P. 120) (TIFF・SHQ・HQ・SQ)
 - 画質を表示します。
- ⑮ カード書き込み
 - 撮影した画像がカードに記録されているあいだ表示されます。
- ⑯ 撮影可能枚数(P. 121)
 - 撮影できる静止画の枚数を表示します。
- 撮影可能秒数(P. 121)
 -  (ムービー) モード時に撮影できる時間を表示します。
- エラーコード(P. 37)
 - カードに問題があるときに表示されます。→エラーコード表示一覧参照(P. 201、202)

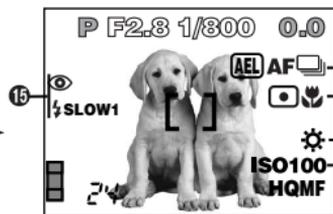
液晶モニタ表示～撮影情報

表示内容は撮影モードにより異なります。

下図の情報を撮影中、常に表示。



ボタンやモードダイヤルを操作したあとや、メニューから抜けたあとに約3秒間表示されます。



* イラストはモードダイヤルを「P」に設定している場合

1 撮影モード(P. 70、71)

- モードダイヤルの位置を表示します。

S-Prg : シーンプログラムモード (: ポートレートモード、 : スポーツモード、 : 記念撮影モード、 : 夜景モード、 : ムービーモード)、 P : プログラムモード、 A : 絞り優先モード、 S : シャッター優先モード、 M : マニュアルモード、 : マイモード

2 絞り値(P. 73)

- 絞り値を表示します。

3 シャッター速度(P. 74)

- シャッター速度を表示します。

4 露出補正(P. 126)

- 露出補正值を表示します。

露出状態(P. 75)

- マニュアルモード(M) 時に設定している絞り値/シャッター速度から算出される露出値と、カメラの適正露出値の差を表示します。

5 露出の固定(P. 110～112)

AEL : AEロック

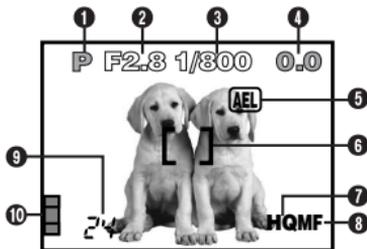
- 1コマ撮影が行われるまで、露出は固定されます。撮影すると表示は消えます。

MEMO : AEメモリ

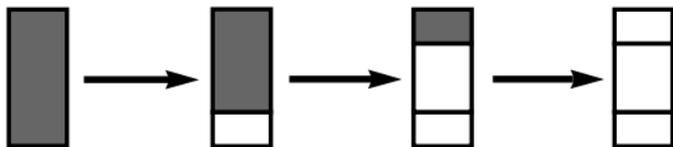
- 撮影後も露出は記憶されています。AEメモリが解除されるまで表示しています。

次ページに続く

液晶モニタ表示～撮影情報（つづき）



- ⑥ AFターゲットマーク(P. 76、78)
 - このマークを被写体に合わせます。
- ⑦ 画質(P. 120) (TIFF・SHQ・HQ・SQ)
 - 画質を表示します。
- ⑧ マニュアルフォーカス(P. 82、83)
 - マニュアルフォーカス機能を使って、ピントを固定しているときに表示されます。
- ⑨ 撮影可能枚数(P. 121)
 - 撮影できる静止画の枚数を表示します。
- 撮影可能秒数(P. 121)
 -  (ムービー) モード時に一度のシャッター操作で撮影できる時間を表示します。
- ⑩ メモリゲージ(P. 88、90)
 - カメラの内蔵メモリにある画像の量を表示します。
 - 連続して撮影すると、次のように表示が変化します。



撮影可能枚数・秒数によりメモリゲージの表示が変化します。



11 ドライブモード(P. 104)

- メニューでドライブモードが設定されると表示されます。

□ : 単写 (1コマ撮影)	☺ : セルフタイマー撮影
📄 : 連写	BKT : オートブラケット撮影
AF📄 : AF連写	

12 スポット測光/マクロモード(P. 108、113)

- 🌸/📄 (マクロ/スポット) ボタンを押してスポット測光/マクロモードを選択すると、表示されます。

表示なし: デジタルESP測光 (初期設定) 🌸 : マクロモード

📄 : スポット測光 📄🌸 : スポット測光+マクロモード

13 ホワイトバランス(P. 128)

- メニューで設定したホワイトバランスを表示します。

表示なし: オート	🌞 : 電球
🌞 : 晴天	💡 : 蛍光灯
☁ : 曇天	👆 : ワンタッチホワイトバランス

14 ISO感度(P. 124)

- メニューで選択した感度 (オート・100・200・400) を表示します。「オート」を選択していても、モードダイヤルをA/S/Mにすると100になります。また、「オート」を選択していても、暗いところでフラッシュを使わない場合は、手ぶれ防止のため感度は自動的に上がります。

15 フラッシュモード(P. 93~96)

- 📄 (フラッシュモード) ボタンを押してフラッシュモードを選択すると、表示されます。

表示なし: オート発光

👁 : 赤目軽減発光

⚡ : 強制発光

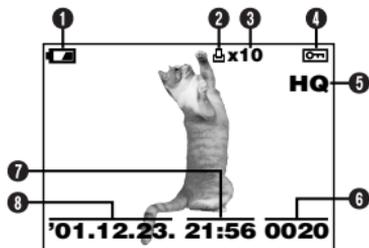
⚡ SLOW1 / ⚡ SLOW2 / 👁 ⚡ SLOW1 : スローシンクロ

🔒 : 発光禁止

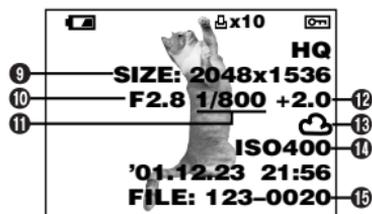
液晶モニタ表示～再生情報

画面に表示させる情報量をメニュー機能を使って選択することができます。
→情報表示(P. 140)

静止画再生情報



情報表示オフ選択時



情報表示オン選択時

① 電池残量

- 電池の残量によって次のように表示が変化します。



- 使用する電池の種類によって、残量表示のタイミングが変わりますので、ご注意ください。

② プリント予約マーク (P. 170、171)

- プリント予約がされていると表示されます。

③ プリント枚数 (P. 170、171)

- プリント予約の枚数が表示されます。

④ プロテクトマーク(P. 146)

- 画像が保護されていると表示されます。

⑤ 画質モード

⑥ コマ番号

⑦ 時刻

⑧ 日付

- 2001年は'01と表示されています。

⑨ 画像サイズ

⑩ 絞り値

⑪ シャッター速度

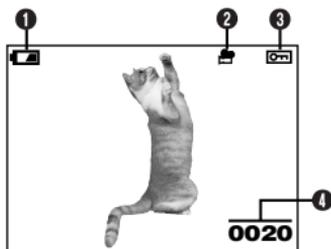
⑫ 露出補正值

⑬ ホワイトバランス

⑭ ISO感度

⑮ ファイル番号/コマ番号

ムービー（動画）再生情報



情報表示オフ選択時



情報表示オン選択時

- ① 電池残量(P. 24)
- ② ムービーマーク(P. 136)
- ③ プロテクトマーク(P. 146)
 - 画像が保護されていると表示されます。
- ④ コマ番号
- ⑤ 日付
 - 2001 年は'01 と表示されています。
- ⑥ 画質モード
- ⑦ 画像サイズ
- ⑧ 時刻
- ⑨ ファイル番号／コマ番号
 - ムービー再生中では、記録時間が次のように表示されます。

0" / 15"
 再生している秒数 全体の秒数

! 注意

- ムービーの場合は、画像を選択して表示したときと、ムービー再生中で表示内容が異なります。(P. 136、138)

本書の見方

本取扱説明書では、モードダイヤルのセット位置と使用するボタンをイラストで記載しています。記載されているモードダイヤルの位置にセットした後、それぞれのステップに示されているボタンを押し、番号にしたがってカメラを操作していきます。

例1

モードダイヤルのセット位置を示しています。
(この例では、Pにセットします。)

1 準備 カメラに内蔵されている時計の時間と日付の設定をします。日時は撮影した画像と一緒に保存されますので、撮影前に正しく設定されているかを再度ご確認ください。

1 モードダイヤルを撮影モード (P、A/S/M/ 、S-Pr) にします。
● レンズがせり出してくるので、レンズキャップは外しておきます。
● カードに画像が記録されているときは、 (再生) モードでも日時の設定ができます。

2 を押して、メニューを表示します。(P. 52)
● 液晶モニタが自動的に点灯します。

3 十字ボタンの を押して、「モードメニュー」を選択します。
● この手順以降の画面は、Pモードで設定した場合のものです。

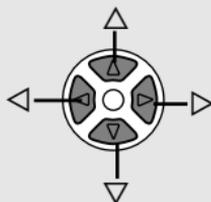
4 を押して「設定」タブを選択し、 を押します。
● 設定メニュー項目が表示されます。

5 を押して「日時設定」を選択後、 を押します。
● 日時設定画面が表示されます。

押します。

黒く塗られているボタンを押します。
(この例では右方向キーを押します。)

十字ボタンのどの方向キーを押すかを△、▽、◀、▶マークで示しています。
(この例では十字ボタンの右方向キーを押します。)



この機能を使う前に、モードダイヤルをこの位置にセットします。

撮影モードの設定～モードダイヤル（つづき）

シャッター速度の設定～シャッター優先撮影



1 トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「A/S/M/」モード」→「S」を選択し を押すと設定が完了します。撮影するには再度 を押します。

4 **2** シャッター速度を速くするには△を押します。

撮影の種本



シャッター速度を速くするには△を押します。
シャッター速度を遅くするには▽を押します。

■ シャッター速度が赤く表示される

設定したシャッター速度では、適正露出が得られません。

▼が表示される→▽を押して、シャッター速度を遅くします。

▲が表示される→△を押して、シャッター速度を速くします。

シャッター速度選択範囲：
4～1/800（秒）

シャッター速度



お好みの撮影モードに設定～マイ・（イメージ）・モード撮影

ここではメニューの使い方が示されています。矢印の順にメニューで機能を設定します。メニューを使う前に、詳細について3章「メニューのしくみ」をお読みください。

